

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 大久保雅人
 事務局 札幌市立しらかば台小学校
 事務局長 野村 邦重
 TEL (011)852-4090
<http://www.hokkaido-sla.jp/>
 印刷所 ㈱北海プリント
 TEL (011)811-2396

第32回 絵と文による冬休み読書大賞

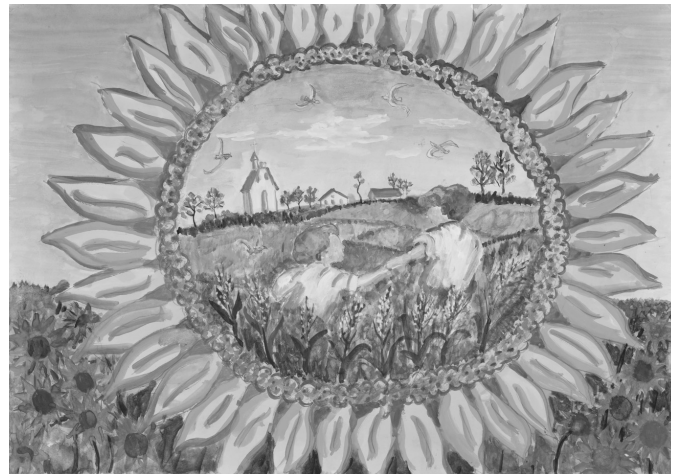
今年で32回を迎えた、冬の読書感想文コンクールとして実施されている『絵と文による冬休み読書大賞』の全審査が終了しました。応募総数は3996点、全道各地から力作が集りました。審査の結果、絵と文部門の大賞一席は、札幌市立青葉中1年齊藤あすかさんが、読書感想絵ハガキ部門の北海道学校図書館協会賞は、立命館慶祥中3年角江ひなのさんが選ばれました。両部門ともに読書から受けた感動を絵と文でいねいに表現した作品が上位をしめました。次頁からは、大賞4作品の感想文、上位入賞者一覧等をご紹介します。

絵と文部門



大賞一席

伊達市立伊達西小4年
羽根秀和



大賞一席

札幌市立青葉中1年
齊藤あすか



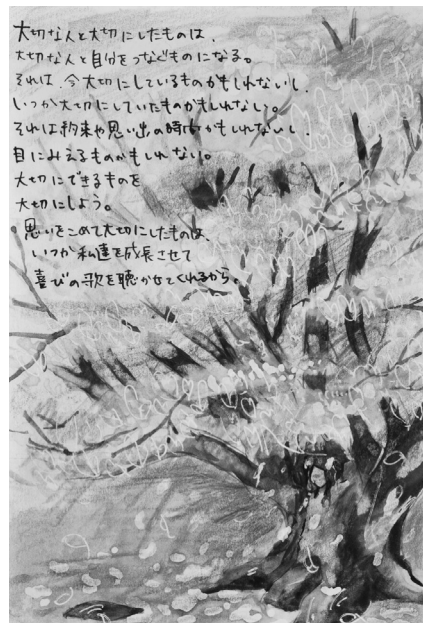
大賞三席

北海道北広島西高2年
藤本倫佳



大賞三席

室蘭市立絵鞆小2年
坪井琉真



北海道学校図書館協会賞

立命館慶祥中3年
角江ひなの

「大切」

読書感想絵ハガキ部門

(『夕暮れのマグノリア』安東みきえ 著)

絵と文による冬休み読書大賞受賞者一覧

《絵と文部門》

大賞一席	『にいさん』を読んで	札幌市立青葉中	1年	齊藤あすか	『にいさん』
大賞二席	勇気あたえた天使、クロ	伊達市立伊達西小	4年	羽根 秀和	『氷の海を追ってきたクロ』
大賞三席	あきらめない きもち	室蘭市立絵鞆小	2年	坪井 琉真	『かしい さかなは かんがえた』
大賞三席	生と死	北海道北広島西高	2年	藤本 倫佳	『星になった鮭』
小学校低学年賞	赤いポストは思い出いっぱい	室蘭市立旭ヶ丘小	1年	齊藤 心音	『赤いポストとはいしゃさん』
小学校低学年賞	りゅうが生まれた!	札幌市立手稲東小	2年	百瀬 晶	『小さなりゅう』
小学校中学年賞	鮭、がんばったね	北斗市立沖川小	3年	竹田 翔己	『星になった鮭』
小学校中学年賞	走れ! みんなのために	札幌市立伏見小	4年	齋藤 奏	『ロンとククノチの木』
小学校高学年賞	「一緒に生きる」ツシマヤマネコを読んで	北斗市立石別小	5年	其田 浩平	『ツシマヤマネコって知ってる?』
小学校高学年賞	チームの大切さ	室蘭市立海陽小	6年	工藤 彩香	『「絶滅から救え!!」わたしたちにできること』
中学生賞	哲夫と沖見おばあちゃん	室蘭市立翔陽中	1年	古本 聖奈	『哲夫の春休み』
中学生賞	強い意志を持って~未来への誓い~	七飯町立大中山中	3年	中島 滯	『草原の風の詩』
高校生賞	かけがえない絆-生きるということ-	札幌聖心女子学院高	3年	逢坂 瞳	『ある小さなスズメの記録 人を想い、愛し、叱った、誇り高きクラランスの生涯』
高校校賞	該当校なし				

《読書感想絵ハガキ部門》

北海道学校図書館協会賞	大切	立命館慶祥中	3年	角江ひなの	『夕暮れのマグノリア』
北海道新聞社賞	しあわせなぼく	札幌市立厚別通小	1年	千葉 遥仁	『赤いポストとはいしゃさん』
北海道新聞社賞	私にもできることはありませんか?	苫小牧市立豊川小	6年	下山めぐみ	『ツシマヤマネコって知ってる?』
北海道新聞社賞	「宇宙から見た東京タワー」	北海道北広島西高	2年	山内いづみ	『「絶滅から救え!!」わたしたちにできること』
小学校低学年賞	はいしゃさんとなかまたち	網走市立潮見小	1年	佐藤 美畝	『小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅』
小学校低学年賞	みんなニコニコ	札幌市立厚別通小	2年	首藤 美結	『赤いポストとはいしゃさん』
小学校中学年賞	きずな	札幌市立手稲北小	2年	竹達 望結	『小さなりゅう』
小学校中学年賞	ヤクーバのような	北斗市立上磯小	4年	竹達 望結	『氷の海を追ってきたクロ』
小学校高学年賞	リトライ	函館市立青柳小	4年	加賀谷陸望	『ヤクーバとライオン I 勇気』
小学校高学年賞	世界中の誰もが見守ったはやぶさの挑戦	滝川市立滝川第一小	5年	本橋 礼菜	『オーロラの向こうに』
中学生賞	夢	滝川市立明苑中	6年	林 里奈	『小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅』
中学生賞	飛翔	立命館慶祥中	2年	松原 礼奈	『宇宙がきみを待っている』
高校生賞	MY NAME IS DEWEY	札幌聖心女子学院高	3年	白川 侑依	『アナザー修学旅行』
高校生賞	夢の色	北海道北広島西高	2年	古口 絵里	『図書館こデューイ 町を幸せにしたトラねこの物語』
高校校賞	立命館慶祥中学校・北海道北広島西高等学校		2年	藤本 倫佳	『七つめの絵の具』

大賞一席

「にいさん」を読んで

札幌市立青葉中学校1年 齊藤 あすか

私はこの本を読んで、詩のような物語なだけに、難しく、何を読者に伝えたくてこの本を書いたのか、そして、何よりもこの「にいさん」は誰のことなのか、なかなか理解することが出来なかった。作者が何を訴えたいのか、又、私の心に何が伝わってくるのかを知りたくて、何度も読み返してみた。

素晴らしい才能と並外れた感性を持ちながら、当時の世の中ではまったく認められなく苦悩するゴッホと、それを必死になって支える弟のテオの兄弟愛について、強烈な印象として私の心に残ったが、このような素晴らしい兄弟愛が現実にあることを知り、驚きと同時に衝撃も受けた。

その要因について色々考えてみた。生まれ育った土地、気候、自然、時代や家庭環境がその背景にあるのではないかと思うが、何よりもゴッホが誰とも妥協せず、あるがままの姿で絵を描き続け、「光と影」「生と死」を見つめ、もがき苦しみ続けたのである。そして、一枚の絵も売れず、世にまったく認められることがなかったゴッホを、画商である弟のテオだけが、兄の才能を信じていたのであろう。唯一の理解者であったテオは、経済的にも精神的にも全ての面で兄を手助けし、兄とともに世の中と戦い、そして兄と一緒に絵を描き続けていたのかもしれない。

まさしく「二人のゴッホ」だと思った。

兄の死後、テオがオランダの母に宛てた手紙の中の言葉、「兄さんは、ぼくのすべて、ぼくだけの兄さんだったのです。」に全てが言い尽くされていると思った。

そして、テオもゴッホの死後、六ヶ月程で後を追うように病死するのである。本当に兄弟愛の強い絆を感じさせられた。

そしてこの無償の愛を通じて、私も改めて家族愛について考えさせられ、身近な人達への思いやりや感謝の気持ちを持つことの大切さを痛感した。

(『にいさん』いせひでこ 作)

大賞二席**勇気をあたえた天使、クロ**

伊達市立伊達西小学校4年 羽根秀和

きびしい寒さの中、きつい労働をさせられたラーゲリ（収容所）で、「負けるものか。必ず日本に帰るぞ。」と、気持ちをふるい立たせて、ついに日本に帰ってきた松尾さんには、人一倍強い心があったんだ。そして、その強い心のもとになったのがクロのそんざいだと思う。クロの果たした役わりは、収容所にいるみんなの気持ちを明るくし、希望をあたえたことだと思う。ささえになるそんざいがあると、人は強い心を持てるとわかった。

必死になって船を追い、水の冷たさとつかれで失神したクロを、川口さんたちは見すてず、船を止めて助けようとした。あの時、ぼくはもうだめかと思ったけど、目を開いた時はすごくほっとした。クロ、本当によかったね。ぼくはクロの勇気をほめてあげたい。

ぼくにとっての心のささえは、いつも助けてくれる家族だ。そのことを思って、ぼくも松尾さんたちやクロのように、強い心と勇気を持って、生きていきたい。

（『氷の海を追ってきたクロ』井上こみち 著）

大賞三席**あきらめない きもち**

室蘭市立絵鞆小学校2年 坪井琉真

ぼくは、かけ算がすらすら言えなかったり、水えいでバタフライがなかなかおよげない時、すぐに「むり。」と言って、あきらめてしまうことが多いけど、かしい魚は、ぜんぜんあきらめない強い気もちをもっている。

かしい魚は、りくの上に行くというゆめのために考えつづけた。だから、ものすごく、長ーい、長ーい時間がたって、いろいろなどうぶつから人間にもしんかした。人間のはじまりが魚だったなんて、びっくりだ。ぼくたち人間やいろいろなどうぶつがいるのは、もとはといえば、かしい魚のおかげなんだ。

海の中で、かしい魚やほかの生きものと大すきなサッカーをしてみたい。そして、今どは、ぼくがかしい人間になりたい。「自分のやりたいことをあきらめなかったら、ゆめはきつとかうんだ。」とお父さんが言っているので、ぼくもあきらめないで、はじめて何かをした人間になれるよう、いっしょうけんめいがんばろう。

（『かしい さかなは かんがえた』クリス・ウォーメル 著）

大賞三席**生と死**

北海道北広島西高等学校2年 藤本倫佳

「私は我が子たちが生まれてくる前に死んでしまう。どうか、少しの間だけでいい……子どもたちが元気に海へ旅立つ日まで生かして下さい。」そんな一匹の鮭の、ひたむきな愛の祈りを聞いたことは、私は今まで一度もなかった。

鮭は川で生まれ、海に旅立ち、再びその川に帰ってきて卵を産み死んでいく。DNAに刻み込まれているのだ。誰かに教えられたわけでもなく、本能の一部として存在している。そんな死を理解しているからこそ、子孫を残すのだと私は思う。

しかし、ある一匹の鮭は思った。我が子は無事に生まれ、海に行けるのかと。その鮭の我が子を思う愛情は、人間以上の何かを感じさせた。それは、我が子の成長を十分に見届けることができないせいだろう。

本の中の一匹の鮭は、卵を産んだ後も我が子のために生き続け、外敵から卵を守った。いつ死んでもおかしくない中で外敵から守ることは恐ろしく、鮭の必死さが伝わってきた。

そんな中、人間の子が鮭を見つけて「かっこわるーい！」と口々に言う。何故、我が子を守りぬくために生きることを馬鹿にするんだ。生きる大切さ、辛さを知らないくせにそんなことを言う人間の子に私は無性に腹が立った。しかし、一人の少年が「あれは……かっこわるくないよ。」と呟いた。その少年にはきっと鮭の必死さが伝わっている。命の大切さを知っている。鮭は少しでも感じただろうか。そのような思いやりのある言葉が、鮭に届いてほしいと私は願った。

本書を読んでいると、生きることの大切さと、すぐ目の前にある死のことについて考えさせられた。死に向かって生きていながらこそ今ある生を大切にしたいと思いをしみじみと感じた。「生きていものは死んでしまうと星になって、空から見守っているんだよ。」と、母が幼い私に言っていたことを思い出した。この鮭もそうあってほしいと私は祈った。

（『星になった鮭』楡木啓子 文／佐藤吉五郎 絵）

入賞者一覽 (奨励賞)

【絵と文部門】

小学校低学年 (15名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
りゅうくんにあいたいな	坂 本 温 貴	札幌市立厚別西小	1	小さなりゅう
みんな大すぎ りゅうちゃん	長谷川 莉 羅	札幌市立福移小	1	小さなりゅう
もぐらバスとたけのこ	渡 辺 亜 理	札幌市立日新小	1	もぐらバス
やさしい ゆうたさんへ	尾 崎 颯 汰	函館市立本通小	1	ゆうたとおつきみ
「りゅうさん、生きていて、よかったね。」	水 沢 玲 那	函館市立本通小	1	小さなりゅう
ふしぎなのらネコをよんで	奥 寺 満 唯	函館市立大船小	1	ふしぎなのらネコ
うれしい赤いポスト	國 見 亮 太	旭川市立東光小	1	赤いポストとはいしゃさん
つばい え	西 村 航 輝	室蘭市立高砂小	1	つばい
ゆきあそびもたのしいな	前 田 花 菜	登別市立富岸小	1	ぼく、まだねむくないよ
私も乗りたい!	斎 藤 雅	札幌市立札幌小	2	もぐらバス
ペンギンとあそびたいな	佐 藤 綾 香	札幌市立札幌苗緑小	2	ペンギンのヒナ
小さなりゅうをよんで思ったこと	丹 野 菜 々 子	札幌市立幌西小	2	小さなりゅう
じゃがいもパーティー	沖 野 倫 彦	深川市立深川小	2	もぐらバス
がんばりやのわたりがらす「ちび」	中 館 脇 鈴	登別市立富岸小	2	ちいさなつきがらす
さきちゃんに にているわたし	藤 原 ま な み	本別町立本別中央小	2	ふしぎなのらネコ

小学校中学年 (15名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
ゆかいな病院	垣 内 優 歩	札幌市立桑園小	3	かばた医院のひみつ
「かばた医院のひみつ」を読んで	清 原 愛	札幌市立前田小	3	かばた医院のひみつ
氷の海を追ってきたクロ	島 子 莉 緒	札幌市立幌西小	3	氷の海を追ってきたクロ
みんなを笑わせたりおどろかせるクロ	田 中 椋 太	札幌市立しらかば台小	3	氷の海を追ってきたクロ
おぼれているかわいそうなクロ	村 上 凜 斗	札幌市立しらかば台小	3	氷の海を追ってきたクロ
井上くんとカバのモモ	横 濱 幹 斗	札幌市立福住小	3	動物園ものがたり
クロ、がんばれ!	菊 地 颯 颯	八雲町立東野小	3	氷の海を追ってきたクロ
かわいそうなカバさん	松 川 優 花	八雲町立八雲小	3	動物園ものがたり
希望を捨てるな!	佐 々 木 大 輝	札幌市立真栄小	4	氷の海を追ってきたクロ
あきらめない『強い心』	進 藤 晴 香	札幌市立鴻城小	4	わたしのとくべつな場所
特別なやさしさ	野 月 そ よ か	札幌市立手稲北小	4	ロンとクノチの木
希望の光	長谷川 詩 恵 奈	札幌市立福移小	4	氷の海を追ってきたクロ
やさしかった あっちゃん	高 山 遥	室蘭市立海陽小	4	あっちゃんとブッチャン
すてきな かばた医院	佐 々 木 来 都	八雲町立東野小	4	かばた医院のひみつ
ハクチョウのように強くたくましく……	渡 部 真 緒	八雲町立東野小	4	北国からの動物記 ハクチョウ

小学校高学年 (15名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
ムカシのちよっといい未来を読んで	岩 田 有 季 奈	札幌市立山の手小	5	ムカシのちよっといい未来
地球からの警鐘 ツシマヤマネコの声なき声聞いて	日 達 智 哉	札幌市立宮の森小	5	ツシマヤマネコって、知ってる?
図書館に広がるきせき	大 美 月	釧路市立鳥取西小	5	「絶滅から救え!」わたしたちができることー
素敵な奇跡になるように	長 瀬 ル ナ	根室市立花咲小	5	ちよっとした奇跡ー晴れた日は図書館に行こう②ー
感動の花火	前 田 桃 乃	登別市立富岸小	5	花火とおぼしき
力を手に入れるために	山 角 咲 良	音更町立東士幌小	5	オーロラの向こうに
農林業はツシマヤマネコの味方	島 子 寧 王	札幌市立幌西小	6	ツシマヤマネコって、知ってる?
「強く逞しく前進」	牧 真 由	札幌市立八軒小	6	ぼくはできるーもしも人生がすっばいレモンをくれたとしてもー
あきらめなかった一球	今 林 幸 太 郎	函館市立鍛神小	6	真夏のマウンド
「ぼくはできる」を読んで	佐 々 木 祥 汰	函館市立駒場小	6	ぼくはできるーもしも人生がすっばいレモンをくれたとしてもー
きっとあるはず「私の本」。本の森を旅してみよう!	袴 田 雪 琴	函館市立青柳小	6	ちよっとした奇跡ー晴れた日は図書館に行こう②ー
お姉ちゃんの温かい応援	竹 野 留 里	室蘭市立地球岬小	6	ツニー・ステップス!
奇跡の帰還「はやぶさ」	坪 井 颯 汰	室蘭市立絵鞆小	6	小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅
毎日を大切に	八重樫 菜 々 子	室蘭市立知利別小	6	ぼくはできるーもしも人生がすっばいレモンをくれたとしてもー
あこがれのマーチングバンド	松 井 楓 夏	釧路市立鶴野小	6	ぼくはできるーもしも人生がすっばいレモンをくれたとしてもー

中学校・高等学校 (7名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
「宇宙がきみを待っている」を読んで	田 尾 遥 菜	札幌市立新川中	1	宇宙がきみを待っている
『夕暮れのマグノリア』を読んで	永 田 彩 香	札幌市立青葉中	1	夕暮れのマグノリア
一時の幸せ	櫻 間 麻 友	旭川市立北門中	1	タイガとココア
自分の道を	岩 田 紗 有 美	札幌市立琴似中	2	険しいをもちアムール川の命の記録
風の靴	小 野 柚 香	札幌市立もみじ台南中	2	ジェミーと走る夏
心	小 田 中 睦	函館市立函館高	2	風の靴
本当の幸せ	山 越 織 江	北海道旭川東高	3	ミーナの行進

【読書感想絵ハガキ部門】

小学校低学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
ポストを とりかえずぞ！	風 間 菜 月	札幌市立厚別通小	1	赤いポストとはいしゃさん
すてきな はいしゃさん	藤 田 実 吹	札幌市立厚別通小	1	赤いポストとはいしゃさん
たけのこギョーザ 食べたいな	竹 本 彩 乃	小樽市立緑小	1	もぐらバス
ぼくのりゅう	穴 吹 頼 乃	旭川市立愛宕東小	1	小さなりゅう
フランスのちいさなまち	桂 川 菜 侑	苫小牧市立緑小	1	ちいさなまち
きれいな おちば	佐 藤 結 衣	苫小牧市立緑小	1	ちいさなまち
おとうさん、よろしくね	新 藤 航 大	札幌市立発寒南小	2	小さなりゅう
なんでも なおす もぐらけんせつ	村 上 智 哉	函館市立大船小	2	もぐらバス
はらべこだなあ	高 山 も か	函館市立湯川小	2	小さなりゅう
えさがほしい	玉 田 陽 大	増毛町立舎熊小	2	ペンギンのヒナ

小学校中学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
待っていてくれた ぼうし	篠 原 彩 花	函館市立昭和小	3	ルルと魔法のぼうし
物を大切に	砂 原 由 妃	函館市立中の沢小	3	かばた医院のひみつ
病院で出会ったカイくん と トントン	辺 見 香 花	函館市立東小	3	かばた医院のひみつ
きずな	安 部 由 乃	登別市立幌別小	3	しまふくろう いきる
クロのはげましで・・・	五十嵐 太 一	二セコ町立二セコ小	3	氷の海を追ってきたクロ
「クロとぼく」	工 藤 羊 平	北海道教育大学附属旭川小	3	氷の海を追ってきたクロ
アカゲラってすごいね	出 藤 町 旺	函館市立昭和小	4	アカゲラ キツツキの森へ
魔法の言葉	菅 原 由 幸	苫小牧市立澄川小	4	動物園ものがたり
もらった勇氣	小 吉 幡 真	北斗市立上磯小	4	ヤクーバとライオン I 勇氣
一生懸命生きる	吉 田 生 渚	北斗市立上磯小	4	アマモの森はなぜ消えた？

小学校高学年 (10名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
真夏のマウンド	浅 井 祐 貴	札幌市立藻岩小	5	真夏のマウンド
ムカシのちょっといい未来	外 崎 文 菜	札幌市立福住小	5	ムカシのちょっといい未来
ツシマヤマネコへ	松 川 沙 世	札幌市立真駒内南小	5	ツシマヤマネコって、知っている？ 一絶句から救え！ わたしたちができること
マウンド最後の喜び	倉 倉 優 太	函館市立深堀小	5	真夏のマウンド
最後の一球！	丸 谷 優 依	乙部町立明和小	5	真夏のマウンド
チャンプ～風になって走れ！～	景 川 悠 花	札幌市立小野幌小	5	チャンプ 風になって走れ！
私にできること	竹 達 紗 紗	札幌市立手稲北小	6	一絶句から救え！ わたしたちができること
「いつの日か――」	中 村 達 恵	札幌市立開成小	6	僕の明日を照らして
今も君は輝いている	袴 田 雪 琴	函館市立青柳小	6	小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅
マイケル、全力投球！	柳 川 紘 樹	北斗市立谷川小	6	真夏のマウンド

中学校・高等学校 (15名)

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年	著 書 名
目標に向かって・・・	高 木 美 南	札幌市立陵北中	1	たまごを持つように
人生の道	菅 原 衣 織	帯広市立帯広第八中	1	草原の風の詩
夢を追い続けろ！	杉 井 育 来	帯広市立帯広第八中	1	リリース
タイガとココア 元気にかけまわれ！	中 津 井 太 奈	帯広市立帯広第八中	1	タイガとココア 闘がほもつ アムール川の命の記録
いつまでも道は続く!!	安 達 萌 希	立命館慶祥中	1	ガール！ガール！ガール！
どんな時も、どこにいても	本 多 悠 吾	立命館慶祥中	1	フラッシュ
人は変わる。	上 原 大 輝	帯広市立帯広第八中	2	ハチミッドロップス
地球の未来は宇宙にあり！	川 合 優 永	北海道教育大学附属函館中	2	宇宙がきみを待っている
メジルシ	工 藤 美 月	立命館慶祥中	3	メジルシ
「草原の風の詩」を読んで	三 藤 川 嶺	立命館慶祥中	3	草原の風の詩
虹とSL列車	高 島 島 玲	北海道北広島西高	1	最後の卒業生 夕張に生きる中学三年生たち
絆	高 島 島 玲	北海道北広島西高	1	パディ たいせつな相棒
きょうだいを見守った大人たち	高 安 宅 未	北海道札幌西高	2	タイガとココア 闘がほもつ アムール川の命の記録
勇気をくれた友達	田 村 瑞 紀	北海道北広島西高	2	チャンプ 風になって走れ！
自由	村 田 ひとみ	北海道北広島西高	2	っばい

審査総評

第32回絵と文による 冬休み読書大賞の審査を終えて

今年で32回目を迎える「絵と文による冬休み読書大賞」には、全道各地から合わせて3,996点の作品が寄せられました。応募総数としては、昨年より減少しているものの、どの作品からも書き手の豊かでみずみずしい感性と強い表現意欲が感じられました。以下、具体的に講評します。

まず「絵と文部門」では例年以上に四年生と六年生に優れた作品が多かったようです。絵に関しては、ここ数年、前年度の受賞作の影響を受ける傾向が見られたのですが、今年の奨励賞以上の受賞作は、どれも独創性あふれる絵と、対象作品を十分に読みこんで書かれた文章であることを証明するものばかりでした。ただ、少し残念だったのは、絵の完成度に二極化の傾向が見られたこと

審査委員長 門前 智 (札幌市立もみじ台中学校校長)

です。「よくぞ、ここまで」と感心する作品がある一方で、もっと丁寧に描きこんでほしいと思う作品が少なからずあったことも事実です。

「絵ハガキ部門」では、中学生の健闘が光りました。限られたスペースを効果的に使い、巧みな構成と色遣いによって見事に仕上げた作品が目を見ました。また、高校生の作品は今年も応募が少なかったものの、卓越した表現力に加え、対象作品に対する読みの深まりと斬新な解釈とで「さすが」と思わせる作品がありました。

最後になりましたが、今回応募してくれたすべての皆様とご指導くださった先生方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

第44回 北海道学校図書館研修講座

1月10日(火)～12日(木)、北海道立道民活動センター(かでの2・7)、札幌市立山鼻中学校、藤女子大学図書館を会場とし、140名を超える参加者がありました。参加者の感想を紹介します。

* * *

■研修講座に参加して(小学校)

豊富町立豊富小学校 教諭 太田 依里

今年度、図書委員会に携わる中で、もっと「子どもたちに本に触れてもらいたい」「授業での活用がしやすい図書館をつくりたい」と思い、参加させていただきました。3日間の研修は、学校図書館について、知識が何もなかったわたしにとって、とても多くの学びの機会となりました。

1日目の講義「管理・運営」「図書館活動」では、学校図書館の役割、経営について学び、学校図書館の基本的な役割について理解することができ、中でも「図書館は、"生もの"」という言葉が心に残りました。そのために、常にアンテナを張り巡らせながら様々な情報をつかんでいく必要性を感じました。学校図書館が教員や児童にとってより活用しやすいものとなるための基礎を今回学ぶことができたように思います。また、他校の先生方の取り組みをたくさんうかがうことができたので、今後の参考にさせていただきます。

2日目の「図書館クリニック」では、実際に山鼻中学校の図書館での作業を通し、図書館のレイアウトや書架の配列など、子どもたちにとっての利用のしやすさを考えながら配架を行いました。図書館の整理をする際に廃棄基準となっても、なかなか廃棄することが難しい現実の厳しさを感じる一方で、さらに授業で活用しやすい環境・整備など、学校図書館の役割について再確認することができました。

3日目の「図書館資料の活用とその指導」では、地域の公共図書館との密な連携のもとで、授業を行えることに変え感動しました。地域の学校図書館とのつながりをもちながら、図書館運営を行っていくことの重要性を教えてくださいました。

この3日間で、たくさんの絵本にも出会わせてもらい、これから読んでいくことがとても楽しみです。

様々な学校や地域での取り組みの陰にある御苦労を今回参加する中で知ることができました。今の学校図書館の現状をしっかりと見つけ、このような機会を通して学び、よりよい学校図書館づくりを進めていきたいと思っています。

■研修講座に参加して(中学校)

旭川市立愛宕中学校 教諭 池田はるか

昨年に引き続き参加しました。この研修に参加するまでは「学校図書館」は本を借りる所、読む所というイメージしかありませんでした。多分、多くの先生方の持っている学校図書館のイメージではないかと思います。それが、受講後には「学校図書館」＝「情報センター」という新たなイメージに、たった2日半でがらりと変わりました。

学校図書館本来の役割を果たすためには活用できる先生がいなくてはならない。学校図書館が情報センターの役割を果たすことは、子どもたちにとってとても有意義なことになるはずです。

特別支援教育の関係で、10年前カナダのミドルスクールに研修に行った際、学校図書館の隣はパソコン室になっている配置になっていました。その時には気づかなかったことですが、すでに情報センターとしての機能を果たしていたのだと研修を通して知りました。これからの日本を背負う子供たちに、本来学校図書館が担う役割を果たすことがもうすでに必要な時期になっていることに、

すべての先生方が気づかなければならないのだろうなと思います。

そのような思いで、司書教諭ではないけれども参加しました。若い先生や、これから教員試験を受ける先生が、この研修を受けに来ていたことで、とても明るい気持ちになりました。一般の先生にこそ受けてほしい大事な研修ですよ！と強く感じました。

■研修講座に参加して(高等学校)

旭川龍谷高等学校 司書 木村 恵

私は10年前に一度、この研修講座に参加したことがあります。しかしながらその時は新卒1年目の右も左もわからぬまま悪戦苦闘していたころだったので、何が問題点なのかわからずにせつかくの研修内容が生かされないうままでした。それから10年経ち、日々の仕事の進め方にわからないことや悩みが降り積もってきました。10年ぶりの参加は、なんとかこの状況を打破できないかと考えてのことです。1日目は講演とステップアップコースの選択講座、2日目は高校コースの選択講座と図書館クリニック、そして3日目は校種別選択講座の高等学校を選びました。

まず講演では、講師の田中先生の洒脱な語り口で、今年度から実施されている新学習指導要領のポイントである「生きる力」を学校図書館としてどのように育んでいったらよいのかということ学びました。特に学校教育は生涯学習の一部であり、生涯学習を支えていくためにも児童・生徒が図書館を自在に活用できる能力を身に付けさせなければならないということに共感しました。

2日目の図書館クリニックは、札幌市立山鼻中学校の図書館にお邪魔して、本棚のレイアウトや図書の並べ方の改造をしてきました。始めに現在の図書館の良い点・改善すべき点を各々紙に書き出してホワイトボードへ貼り、それについて意見を交わしていきました。自分ひとりでは考えつかなかった点や見方を知ることができ、そして目に見えて本の配置が変わっていく経験はとても刺激的なものでした。

最後に校種別選択講座は、高等学校の図書館が授業にどのように生かされているかという討議の場となりました。講師の畠師先生の勤務校でのお話を聴き、自分の仕事内容の至らなさを痛感しました。また、参加者全員がそれぞれの学校図書館と授業の関わりを発表し、そして私自身も発表することにより、各校の見習うべき取り組み方・自らの方向性への自信を得ることができました。

研修を終えて、これから自分がどのように図書館を運営していけばよいかが少しだけ見えてきました。来年度以降も、どこかの学校図書館で孤軍奮闘されている方にもっとこの研修講座に参加していただけたらと思います。



学校図書館情報

◆平成24年度 北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 平成24年5月12日(土) 14:00~16:00
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 740会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
各支部の総会参加をよろしく願います。

◆全国学校図書館協議会総会・各県事務局長会議開催

2月2日(木)東京の学校図書館センターで、午前中は定期総会、午後から各県事務局長会議が開催されました。北海道からは会長大久保、副会長浦田と事務局次長村山が参加しました。

活動方針として、公益社団法人としての基盤整備を進めながら、「学校図書館及び青少年の読書の振興」では、①公益事業の推進、②第4次「学校図書館整備5か年計画」に基づく予算化運動の展開、③「学校図書館基準」の普及、④全校における読書指導の推進、⑤読書会の普及、⑥情報活用能力育成の指導の推進、⑦教員へのサポート機能充実の推進、⑧学校図書館スーパーバイザーによる学校図書館の活性化、⑨司書教諭の専任化・配置拡大への支援、⑩学校司書の配置促進と法制化の推進、⑪「子ども読書活動推進計画」(第2次)等による読書活動の振興を図る運動の展開、⑫高等学校の図書整備施策策定に向けての活動の展開等が提案され承認されました。(G体は、新規)

2月3日(金)午前の国会議員への陳情活動では「学校図書館の充実について」のお願いとして、①司書教諭の専任化と学校司書の法制化、②学校図書館の資料の充実のための予算措置、③教員養成課程に「学校図書館の活用」等に関する科目の設置推進、の3点を願っています。

◆第57回青少年読書感想文全国コンクール

- 表彰式 平成24年2月3日(金) 東京會館
北海道からは、4名が入賞、11名が入選となりました。
奨励賞(サントリー奨励賞)
- 漆畑元基さん(函館市立深堀小学校2年)
「あかちゃんがいるの!」を読んで(自由・指定)
 - 其田浩平さん(北斗市立石別小学校5年)
こども電車(課題)
 - 樋口佳南さん(札幌市立向陵中学校2年)
いのちのしずくを受けとめて(自由・指定)
 - 伊澤咲弥さん(北海道札幌旭丘高等学校3年)
「この坂を越えた先に…」(課題)

◆「いせひでこ・絵本の世界」展 開催決定

- ～人はみな心に1本の木をもっている～(仮)
- ・日時 6月2日(土)～7月16日(月)
 - ・会場 北海道立文学館 特別展示室
 - ・主催 北海道立文学館、公益財団法人 北海道文学館 北海道学校図書館協会
 - ・いせひでこさんの講演会&サイン会 6/2～3, 6/23～24
 - ・柳田邦男さんの講演会 6/23～24(予定)

事務局

〒062-0054 札幌市豊平区月寒東4条18丁目10-45
札幌市立しらかば台小学校内
事務局長 野村 邦重
TEL 011-852-4090
FAX 011-852-2379
e-mail kunishige nomura@city.sapporo.jp

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆第38回全国学校図書館研究大会(米子大会)のご案内

- ・大会テーマ
「学びを広げる ひとをはぐくむ 学校図書館」
- ・期日 平成24年8月8日(水)～10日(金)
- ・会場 鳥取県米子市 米子コンベンションセンター・米子市文化ホール
- ・参加費 6,500円

◆第35回北海道子どもの本の集い

in留辺藪・置戸大会のお知らせ

- ・日時 平成24年8月4日(土)～5日(日)
- ・会場 留辺藪町公民館・置戸中央公民館他
- ・メインテーマ「すべての子らに本の楽しさを」
- ・基調講演 長倉洋海さん(写真家)
- ・主催 北海道子どもの本連絡会

◆第54回北海道図書館大会のお知らせ

- ・日時 平成24年9月6日(木)～7日(金)
- ・会場 北海学園大学
- ・テーマ 「図書館がつなぐ絆」
- ・担当分科会「学習支援と公共図書館の役割」(仮題)
提言発表 対崎奈美子さん(東京学芸大学)

上記、大会等の詳細については、それぞれの関係ホームページをご覧ください。

編集後記

今年は記録的な豪雪と厳寒の冬です。おまけにインフルエンザの大流行が続いており、春の訪れが早いことを願うばかりです。皆様には年度末に入り多忙な毎日をお過ごしのことでしょう。2011年度の最終号である本号は、第32回『絵と文による冬休み読書大賞』の特集と、1月に開催された第44回北海道学校図書館研修講座の報告を掲載しております。

機関紙『北海道の学校図書館』は昨年度から年4回の発行となりましたが、できるだけ皆様に役立つ情報を掲載していきたいと考えております。ご意見やご要望があればお寄せください。1年間のご購読ありがとうございました。

編集：杉本 操 村山 知成 佐藤 秀則
野村 邦重 飯島 道恵

ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-sla.jp/>